



2020年（令和2年）3月18日

お知らせ

資料提供先：

島根県政記者会、浜田記者クラブ、益田記者クラブ  
山口県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政滝町クラブ

## 【E9】山陰道（小浜～田万川）の道路計画について 皆さまのご意見をお聞かせください

山陰道（小浜～田万川）の道路計画について、地域の皆さまや道路を利用される方からご意見をお伺いし、道路計画に反映するためのアンケート調査及びヒアリング調査を行いますのでお知らせします。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

○調査内容：以下の対策案を検討する際に配慮すべき（重要）と思う事項※別添-1参照

○アンケート：（調査期間）令和2年3月19日（木）～令和2年5月11日（月）（予定）  
※作業の都合により配布日が前後する場合があります。

（調査対象）・旧益田市、旧田万川町、旧須佐町の地域住民に郵送配布  
・道の駅や官公庁等にアンケート票を設置※別添-2参照

○ヒアリング：（調査期間）令和2年6月上旬までに実施（予定）

（調査対象）・関係自治体や関係団体、企業等へ訪問等により、  
インタビュー形式のヒアリングを実施。

○対策案



問い合わせ先： 国土交通省 中国地方整備局 浜田河川国道事務所

副所長（道路） やまもと たかゆき  
山本 孝行

【担当】 調査設計課長 すぎはら よしかず  
杉原 義和

電話番号 0855-22-2480（代表）

U R L <http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/>

# 山陰道 (須子～田万川) の計画に向けて

～「小浜～田万川」の対策案について、みなさまのご意見をお聞かせください～

山陰道は、鳥取県鳥取市から島根県を經由し山口県下関市に至る総延長約380kmの高規格幹線道路※であり、山陰地方の地域経済の活性化、観光の振興、災害に強い道路ネットワークの確保を主な目的として整備を進めています。

今回のアンケートは、須子～田万川間のうち、小浜～田万川間の対応方針(案)を検討する際に配慮すべき(重要)と思う事項等について、ご意見を伺うものです。

前回に引き続き、本調査にご協力いただきますようお願いいたします。



※高規格幹線道路とは、全国的な自動車交通網を形成する自動車専用道路のことです。

平成28年11月～12月に実施した第1回アンケートでは、約7,800件の回答を頂き、平成31年3月～令和元年5月に実施した第2回アンケートでは、約6,500件の回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。

今回の小浜～田万川間のアンケートへの回答はQRコードからでも可能です。

また、地域や道路・交通の状況と課題についても、国土交通省ホームページでご覧になれます。

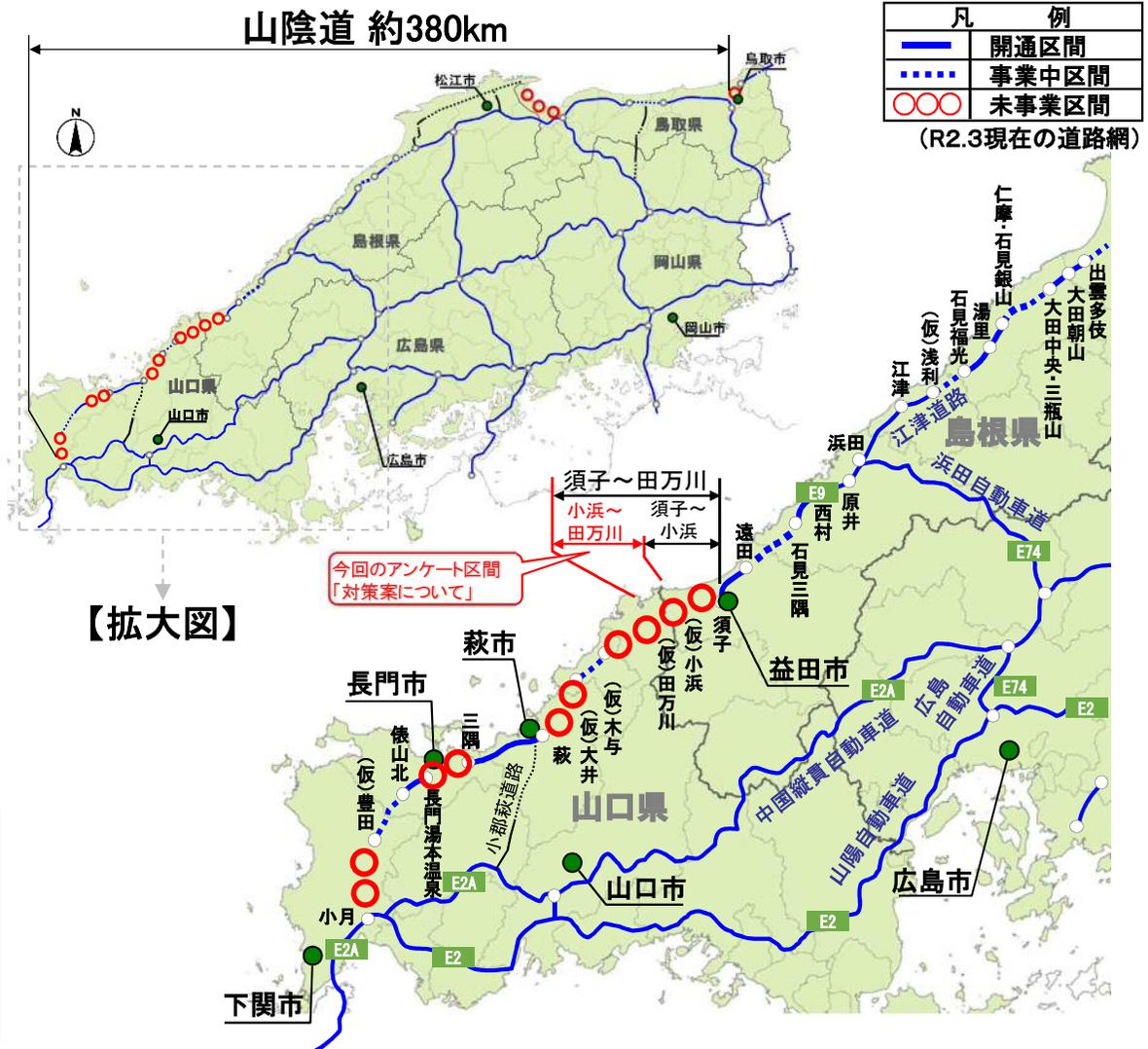
国土交通省ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/sanindo/>

QRコード



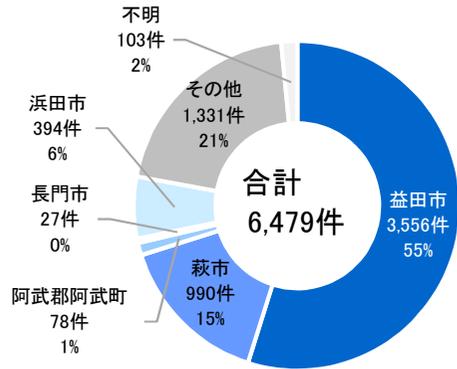
■ 今回のアンケートの対象は、「小浜～田万川」間です。



# 第2回意見聴取にご協力いただきありがとうございました。 みなさまにお聴きしたご意見の結果と今回のアンケートに至る経緯をご説明します。

## 須子～小浜間の対策案について(第2回アンケート)

平成31年3月～令和元年6月の意見聴取では須子～小浜間の対策案について重要と思われる項目について意見を聴取させていただき、約6,500件のご意見をいただきました。



ありがとうございました。



様々なご意見を頂きました

## 皆さまのご意見を基に須子～小浜間の対応方針(案)を決定しました。

### 対応方針(案)の策定にあたり重要と思われる項目

効果・改善点	特に重視すべきと思われる項目	全体 (回答者数: 6,124人)
道路整備のための	1 通行止め時の代替路が確保できること。	35%
	2 交通の安全性が向上できること。	30%
	3 主要な産業拠点(石見臨空パーク・国営農地)への速達性が向上できること。	34%
	4 観光拠点(萩・石見空港)及び観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。	37%
	5 救急医療機関へ早く、確実に輸送できること。	31%
配慮すべき点	6 大気質騒音等の生活環境への影響が改善すること。	4%
	7 自然環境への影響が小さいこと。	11%
	8 移転等が必要な家屋が少ないこと。	6%
	9 集落との連絡性に優れること。	7%
	10 工事中の交通規制等が少ないこと。	8%
	11 建設に要する費用が少ないこと。	15%
	12 維持管理に要する費用が少ないこと。	12%
	13 その他	4%

※当該質問に回答した人のみ集計しているため、全回答数6,479と一致しない

### 主なご意見

- ・ 現道191号に近接する海側ではなく**山側からアクセスする道路が必要**
- ・ 人口減少に歯止めをかけるには**企業誘致が必要で、工業団地への利便性の高い道路が必要**
- ・ **山陰道が九州方面に繋がることで、地域の産業構造に新たな展望が開ける**
- ・ 津和野・萩を含めた広域的な人の**交流を拡大する道路が必要**
- ・ **早期開通が最優先**と考えると少しでも**費用が少ないことが重要**

## 小浜～田万川間について(今回アンケート)

○小浜～田万川間の整備にあたり、中国地方小委員会で「対策について意見聴取をすべき」という意見を頂きました。

○平成30年7月豪雨災害では、山陰道が山陽道、中国道の代替路として使われ、高速道路ネットワークの重要性が認識されました。

○須子～小浜間の意見聴取でも、小浜～田万川間の別線整備を求める意見を頂いております。



平成30年7月豪雨災害直後の出雲市内の国道9号の混雑状況 (H30.7.8)

○現道対策案や別線整備案などの、**3つの対策案を検討**いたしました。

○この3つの対策案について、**重要と思われる項目についてご意見をお聞かせください。**



これらの意見を踏まえ、須子～小浜間においては「産業拠点へのアクセスを優先したバイパス案」を対応方針(案)として決定しました。災害に強く安全な走行や救急搬送の速達性を確保し、産業活性化や観光振興の促進といった整備効果が期待できるルートです。

須子～小浜間について多くのご意見、ありがとうございました。引き続き小浜～田万川間についても多くのご意見をお待ちしております。

# 皆様からいただいたご意見を踏まえて5つの政策目標※を設定しています。

※政策目標とは・・・政策(対策)の実施により、実現しようとする目標

## 通行止め時の ネットワークの確保



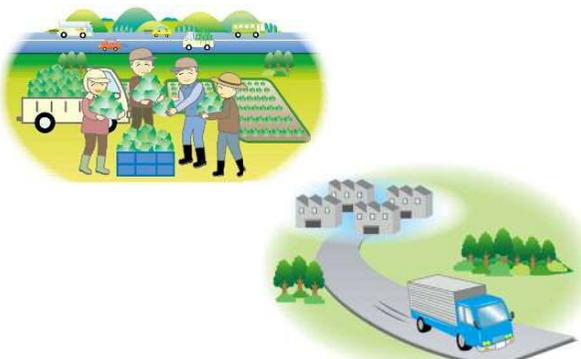
- ・ 通行止め時に代替路が確保できること。
- ・ 要防災対策箇所及び洪水浸水想定区域を改善又は回避し災害時でも確実に通行できること。

## 安全性・走行性の向上



- ・ 構造不良箇所が改善され安全性、走行性が向上できること。
- ・ 死傷事故率が全国平均を上回る箇所を改善または回避し安全性が向上できること。

## 産業の活性化



- ・ 交通混雑を緩和と回避ができ、企業活動や農産物輸送を支援する速達性が向上できること。

## 観光振興の促進



- ・ 交通混雑を緩和と回避ができ、観光地間の周遊を支援する速達性が向上できること。

## 救急医療機関への速達性、 確実性の確保



- ・ 交通混雑を緩和と回避ができ、救急医療機関への速達性が向上できること。
- ・ 代替路が確保され、救急医療機関への搬送の確実性が向上できること。

# 皆様から頂いたご意見を踏まえ、 山陰道（小浜～田万川）における配慮すべき事項を設定しました。

## 配慮すべき主な意見

排気ガスが住民に影響しない工夫をして欲しい。

なるべく自然を壊さず、環境変化の少ないものにして下さい。

住宅等の立ち退き移転により地元に残らず利便性を求め市内に移住（転居）され住民の流出が多くなる事が寂しい。

市街地、集落から山陰道に乗りやすくなるようICの場所を考慮する。

工事中（整備中）における交通渋滞の緩和。スムーズな車両の通行。

施工費を抑えて、早期開通を望みます。

維持、更新コストがなるべく少なくなる様な道として下さい。総人口が減少する中、将来世代の負担が軽くなることを望みます。

## 評価ポイント

大気質や騒音の影響が改善すること

自然環境への影響が  
小さいこと

移転等が必要な家屋が少ないこと

集落との連絡性に  
優れること

工事中の交通規制等が  
少ないこと

建設に要する費用が  
少ないこと

効果発現までの期間が短いこと

維持管理に要する費用が少ないこと

※左記の意見を参考にアンケートの選択肢を設定

# 小浜～田万川間について、3つの対策案を検討しています。 これらについてご意見をお伺いします。

凡例	
◆集落・市街地	
◆学校	
◆公共施設	
◆神社・仏閣	
◆山[標高:m]	

凡例	
◆主要施設	
萩・石見空港	
国営農地	
石見臨空ファクトリーパーク	
道の駅ゆとりパークたまがわ	



※ルート帯(幅500m)に含まれるコントロールポイントは詳細ルートの検討時に配慮する。

凡例	
	線形・勾配不良箇所
	要防災対策箇所
	災害による通行規制発生箇所(H19～H29)
	事故による通行止め発生箇所(H19～H29)
	死亡事故発生箇所(H19～H29)
	死傷事故率が全国平均を上回る箇所(H26～H29)
	速度低下区間(旅行速度20km/h以下区間)
	洪水時浸水想定区域
	高次医療施設

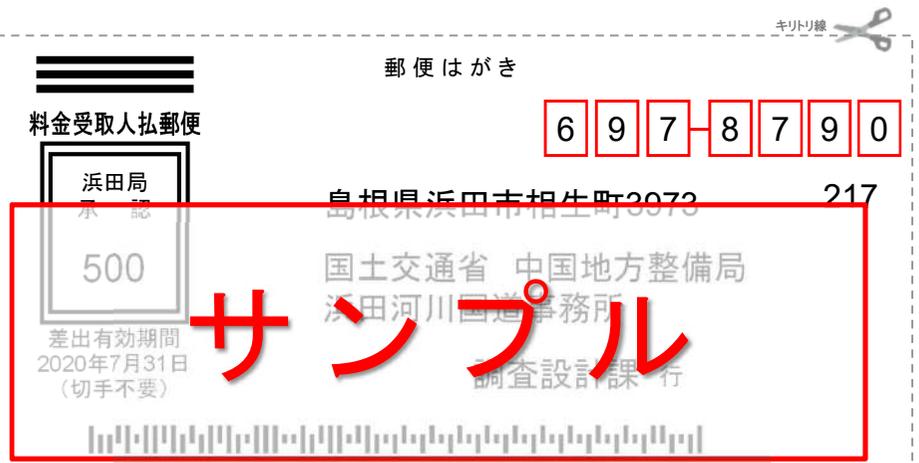
凡例	
	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)
	土砂災害警戒区域(土石流)
	土砂災害警戒区域(地すべり)

- :【案A】現道の線形不良区間の解消及び要防災対策箇所の対策を行う案
- :【案B】構造不良箇所の連続区間をショートバイパスで回避し、その他区間を現道拡幅する案
- :【案C】小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案

# 小浜～田万川間の対策案の特徴

評価のポイント		案A	案B	案C
		現道の線形不良区間の解消及び要防災対策箇所の対策を行う案	構造不良箇所の連続区間をショートバイパスで回避し、その他区間を現道拡幅する案	小浜～田万川間を別線バイパスで結んだ案
		延長 約0.7km	延長 約7.5km	延長 約6.9km
道路整備による効果・改善点	① 通行止め時の代替路が確保できること。	小浜～田万川間の代替路は確保されない	小浜～田万川間全線の代替路は確保されない	小浜～田万川間の代替路が確保できる
	② 交通の安全性が向上できること。	一部区間において交通の安全性が向上する	交通の安全性が向上する	交通の安全性が向上する
	③ 主要な産業拠点への速達性が向上できること。 (田万川地区～産業拠点)	■速達性：現況と変わらない	■速達性：約1分短縮	■速達性：約3分短縮
	④ 観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。 (萩市～益田市)	■速達性：現況と変わらない	■速達性：約1分短縮	■速達性：約3分短縮
	⑤ 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。 (田万川地区～益田赤十字病院)	■速達性：現況と変わらない ■確実性：劣る	■速達性：約1分短縮 ■確実性：劣る	■速達性：約3分短縮 ■確実性：優れる
配慮すべき事項	⑥ 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。	現道活用のため、現道の沿道環境は改善が見込まれない	ショートバイパス区間については沿道環境の改善が見込まれるが、現道改良区間については改善が見込まれない	交通の転換により、現道の沿道環境は改善が見込まれる
	⑦ 自然環境への影響が小さいこと。	地形変化が少なく、また橋梁がないため自然環境との調和の課題は少ない	地形変化が多いため、橋梁が少ないが自然環境との調和に課題がある	地形変化が多く、また橋梁が多いため自然環境との調和に課題がある
	⑧ 移転等が必要な家屋が少ないこと。	家屋移転はない	家屋への影響は小さい(8件)	家屋への影響は小さい(6件)
	⑨ 集落との連絡性に優れること。	最寄りのIC(小浜IC)への連絡性向上は見込めない	最寄りのIC(小浜IC)への連絡性向上は見込めない	田万川地区の連絡性に優れる
	⑩ 工事中の交通規制等が少ないこと。	現道の交通規制は多い	現道の交通規制は多い	現道の交通規制が少ない
	⑪ 建設に要する費用が少ないこと。	約10～60億円	約210～260億円	約320～370億円
	⑫ 効果発現までの期間が短いこと。	局所的な対策であるため、短期間で効果を発現	一般交通に配慮を行いながらの工事となるため、工事が長期間に及ぶ	全線別線バイパスであり、工事が長期間に及ぶ
	⑬ 維持管理に要する費用が少ないこと。	維持管理費は増加しない	維持管理費はやや増加するが案Cより少ない	維持管理費は最も増加する

# 【 回答はがき 】



■締め切り**2020年5月11日(月)までに投函願います。**

◆あなた自身のことについて【記入または該当する番号に1㊟をつけてください】

住所 〒	県	市・郡	町
性別	① 男性	② 女性	年齢 歳代

◆「須子～田万川間の国道191号」(以下「対象路線」)の普段の自動車利用状況について該当する番号に1㊟をつけてください。

Q1. 現在の対象路線を自動車等で利用する頻度を教えてください。

① ほぼ毎日      ② 週2～3回程度      ③ 月2～3回程度  
→①、②、③を選ばれた方は《下段》の質問へ

④ ほとんど利用しない      ⑤ 利用したことがない  
→④、⑤を選ばれた方は《裏面》の質問へ

Q2. 対象路線の自動車等による主な利用目的を教えてください。

① 通勤      ② 通学      ③ 買い物  
④ 仕事      ⑤ 観光・レジャー      ⑥ その他( )

Q3. 主な目的地を教えてください。

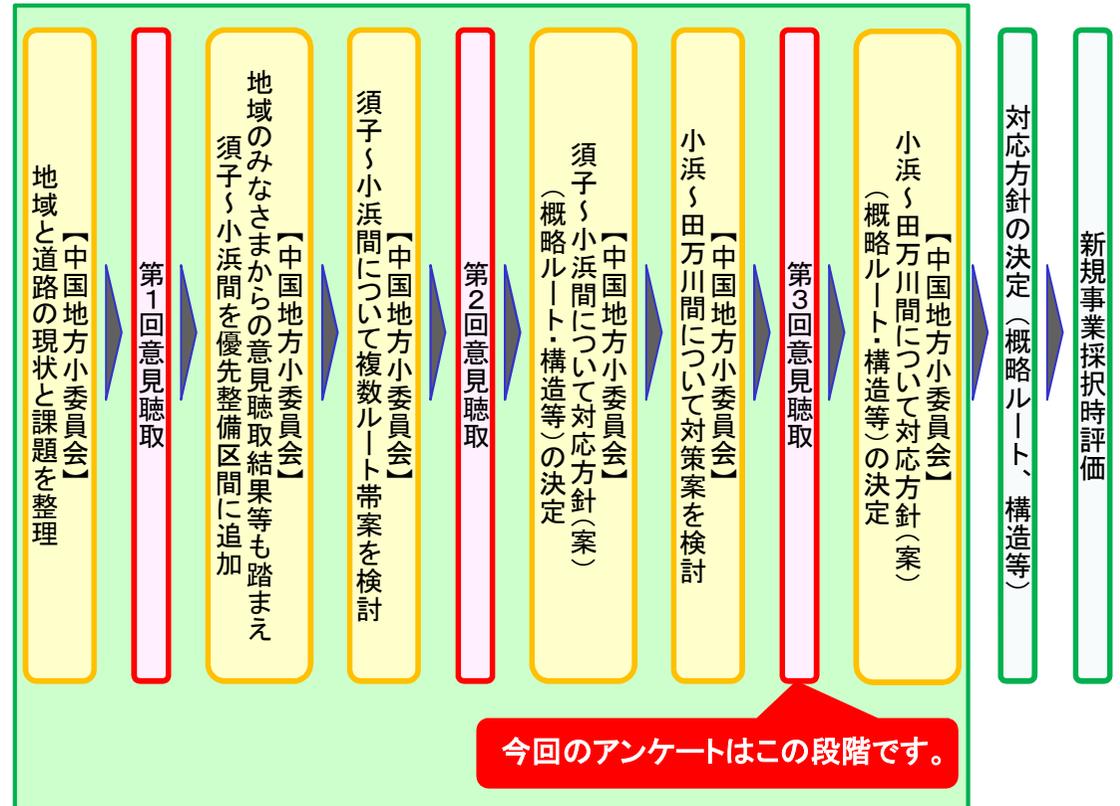
① 益田市      ② 萩市(旧田万川町)      ③ 萩市(旧須佐町)  
④ 阿武町      ⑤ 萩市(旧萩市)      ⑥ 萩市(その他)  
⑦ 長門市      ⑧ 浜田市      ⑨ その他( )

《裏面》の質問へ→

※)本アンケートでお答えいただいた意見および個人情報、他の目的で使用したり、第三者に使用させたりすることは一切いたしません。

# 手続きの今後の流れ

## 計画段階評価



※本アンケートでお答えいただいた個人情報は、厳重に管理するとともに、お答えいただいたご意見については今後の道路計画を検討する際の貴重なご意見として活用させていただきます。

## アンケートのお問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局  
 浜田河川国道事務所  
 担 当：調査設計課  
 受付時間：8:30～17:15  
 (土日祝除く)  
 ☎0855-22-2480



安心で快適な  
 地域づくりのために  
 みなさまのご意見を  
 お待ちしております。

# 【 質 問 票 】

(回答はがきに記載してください)

# 【 回 答 は が き 】

(質問票をご覧ください回答してください)

提示した小浜～田万川間の対策案に対して、みなさまが配慮すべき(重要)と思う事項等についてご意見をいただき、対応方針(案)決定の参考にします。

**質問1** 今回、3つの対策案を検討していますが、地域にとって望ましい案を決定する際に、何が重要だと思いますか。  
以下の項目①～⑭から**特に配慮すべき(重要)項目**について**最大3つまで**選び、**番号とその理由・内容**をお書き下さい。

- ① 通行止め時の代替路が確保できること。
- ② 交通の安全性が向上できること。
- ③ 主要な産業拠点への速達性が向上できること。
- ④ 観光地間(益田～萩間)の速達性が向上できること。
- ⑤ 救急医療機関へ早く、確実に搬送できること。
- ⑥ 大気質や騒音等の生活環境への影響が改善すること。
- ⑦ 自然環境への影響が小さいこと。
- ⑧ 移転等が必要な家屋が少ないこと。
- ⑨ 集落との連絡性に優れること。
- ⑩ 工事中の交通規制等が少ないこと。
- ⑪ 建設に要する費用が少ないこと。
- ⑫ 効果発現までの期間が短いこと。
- ⑬ 維持管理に要する費用が少ないこと。
- ⑭ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書き下さい)

**質問2** 道路整備をすることによる懸念や配慮した方が良くと思う事(周辺への影響、経済性等)についてご意見などございましたら、ご自由にお書き下さい。

質問は以上です。ありがとうございました。

■回答方法 右側の回答はがきに記入し、  
切り取って郵便ポストに投函して下さい

(質問1)  
左記の重視すべき項目①～⑭のうち、**特に配慮すべき(重要)項目**について、**番号とその理由・内容**をお書きください。

特に配慮すべき(重要)項目の番号	特に配慮すべき(重要)理由・内容

(質問2)  
道路整備をすることによる懸念や配慮した方が良くと思う事(周辺への影響、経済性等)についてご意見などございましたら、ご自由にお書き下さい。



## アンケート票設置場所（予定）

別添-2

管理番号	県	市町村	施設名
1	島根県	浜田市	浜田市役所 本庁
2			浜田市役所 金城支所
3			浜田市役所 旭支所
4			浜田市役所 弥栄支所
5			浜田市役所 三隅支所
6			島根県 浜田県土整備事務所
7			「道の駅」 ゆうひパーク浜田
8			「道の駅」 ゆうひパーク三隅
9		益田市	益田市役所 本庁
10			益田市役所 美都総合支所
11			益田市役所 匹見総合支所
12			島根県 益田県土整備事務所
13			「道の駅」 サンエイト美都
14			「道の駅」 匹見峡
15		津和野町	津和野町役場 本庁
16			津和野町役場 津和野庁舎
17			「道の駅」 シルクウェイ日原
18			「道の駅」 津和野温泉なごみの里
19	山口県	萩市	萩市役所 本庁
20			萩市役所 川上総合事務所
21			萩市役所 田万川総合事務所
22			萩市役所 むつみ総合事務所
23			萩市役所 須佐総合事務所
24			萩市役所 旭総合事務所
25			萩市役所 福栄総合事務所
26			山口県 萩土木建築事務所
27			「道の駅」 ゆとりパークたまがわ
28			「道の駅」 萩しーまーと
29			「道の駅」 萩往還
30			「道の駅」 萩さんさん三見
31			「道の駅」 ハピネスふくえ
32			「道の駅」 うり坊の郷
33			「道の駅」 あさひ
34			阿武町
35		阿武町役場 福賀支所	
36		阿武町役場 宇田郷支所	
37		「道の駅」 阿武町	
38	国土交通省浜田河川国道事務所		
39	国土交通省山口河川国道事務所		